※令和４年度以降入学生用

学校番号	３００１

令和５年度　環境緑化科

教科	農業	科目	造園土木	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書							
副教材等	造園施工必携　（日本造園組合連合会）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

造園土木の基礎的な知識や技術を幅広く学び、測量技術や設計技術、施工技術など造園土木に関連する技術を習得する科目です。

2　学習の到達目標

造園土木の基礎的な知識や技術の習得をはじめ、伝統的な技法に触れることにより、より一層職業意識を高める。造園土木の基本的な技術を身に付けた技術者を育てる。
(1)基本的な測量技術、平板測量、角測量、トラバース測量、水準測量などを学ぶ。
(2)基本的な造園設計「製図」の技術を学ぶ。庭園や公園等の各種造園空間の表現方法としての図面作製をはじめ、各種図面の読図及び作図技術を習得させる。
(3)基本的な施工技術を使い、学校の庭園に竹垣・縁石等の作品を製作する。
(4)造園に関する様々なデザインやプレゼンテーション等の表現能力と態度を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	造園土木について、体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	造園土木に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ、合理的かつ創造的に解決することができる。	造園土木について目的や環境に応じた造園空間の創造につながるよう自ら学び、知識・技術を向上するため、主体的かつ協働的に取り組む態度がある。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	測量	測量 1測量の種類、用途 2平板測量	a:測量機器の名前と用途を理解し、正しく使用できる。 b:作業計画がしっかりと行える。授業の内容が理解できている。安全に作業ができる。 c:測量精度や作業速度を上げるために、作業に創意工夫がされている。実習に対する意欲・態度が良好である。	実習成果 提出ノート	レポート 提出ノート	課題成果 観察
	造園設計	造園設計 1製図の基本 2図面の描き方 3CADによる造園設計 (デザインの表現等)	a:製図道具の名前と用途を理解し、正しく図面を描くことができる。 b:作業手順を理解し、手描き図面やＣＡＤ による表現が正確にできる。 c:図面を仕上げるため、作業に創意工夫がされている。実習に対する意欲・態度が良好である。	実習成果 提出ノート	発表 レポート	課題成果 観察
2学期	測量	測量 1高低測量 2地積計算	a:測量機器の名前と用途を理解し、正しく使用できる。 b:作業計画がしっかりと行える。授業の内容が理解できている。安全に作業ができる。 c:作業に創意工夫がされている。実習に対する意欲・態度が良好である。	実習成果 提出ノート	レポート 提出ノート	課題成果 観察
	基盤工	基盤工 1位置だしと遣方づくり 2石工事 3園路・広場工事	a:造園施工に関する作業手順を理解し、設計通りの寸法に仕上げることができる。 b:作業計画をしっかりと行い、効率的に作業を進めている。安全に作業ができている。 c:作業に創意工夫がされている。実習に対する意欲・態度が良好である。	実習成果 提出ノート	レポート 提出ノート	課題成果 観察
3学期	基盤工	基盤工 1組積工事 2添景物の施工 3水景工 4造園付帯工事 （土工事）	a:造園施工に関する作業手順を理解し、設計通りの寸法に仕上げることができる。 b: 作業計画をしっかりと行い、効率的に作業を進めている。安全に作業ができている。 c:作業に創意工夫がされている。実習に対する意欲・態度が良好である。	実習成果 提出ノート	レポート 提出ノート	課題成果 観察

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度